

## 市立御前崎総合病院の 院内保育施設と病診連携について



後藤 憲志

**問** 総合病院内に院内保育施設を設置することは、女性医師、看護師の確保、あるいは離職防止につながるかと思えます。又院内保育施設の設置により、病児保育等の扱いも可能になるかと思うが

**答** 病院長 本院の看護師の状況は平成17年から減少し始め、同年4月の看護師正規職員数は147人のところを平成18年4月には130人、平成19年4月は120人となっております。離職率は全国平均を少し下回っているものの、ここ2年は応募者が112名にとどまっているため、病院の緊急課題として看護師確保プロジェクトチームを立ち上げて検討しております。

院内保育再開につきましては、医師数及び患者数の動向を見ながら慎重に検討して参りましたが、現在、院内保育所を希望する看護師も数名おり、更に、女性医師も対象にすることにより、子育て中の女性医師が本院での勤務を承諾する可能性も出てきます。看護師・医師対策の有効な手段の1つと考えますので、再開について検討したいと思えます。病児保育についても併せて検討したいと考えます。

**問** 病院と診療所の連携の中で、小笠三師会の作成された「私のかかりつけ手帳」の利用状況、利用方法、効果、今後の課題等についての考えは

**答** 病院長 当院では、退院後に他の診療所や病院などをご利用される方で、手帳希望者を対象にお渡し、利用していただいております。配布数は月平均10冊程度であります。医療だけでなく健康相談等の疾病予防等にも活用していただければ、より効果があると思いますので、患者さんにメリットをご理解いただき普及していきたいと考えております。

**問** 病院と診療所の連携の中で、小笠三師会の作成された「私のかかりつけ手帳」の利用状況、利用方法、効果、今後の課題等についての考えは

**答** 病院長 当院では、退院後に他の診療所や病院などをご利用される方で、手帳希望者を対象にお渡し、利用していただいております。配布数は月平均10冊程度であります。医療だけでなく健康相談等の疾病予防等にも活用していただければ、より効果があると思いますので、患者さんにメリットをご理解いただき普及していきたいと考えております。

**問** 総合病院内に院内保育施設を設置することは、女性医師、看護師の確保、あるいは離職防止につながるかと思えます。又院内保育施設の設置により、病児保育等の扱いも可能になるかと思うが

**答** 病院長 本院の看護師の状況は平成17年から減少し始め、同年4月の看護師正規職員数は147人のところを平成18年4月には130人、平成19年4月は120人となっております。離職率は全国平均を少し下回っているものの、ここ2年は応募者が112名にとどまっているため、病院の緊急課題として看護師確保プロジェクトチームを立ち上げて検討しております。

院内保育再開につきましては、医師数及び患者数の動向を見ながら慎重に検討して参りましたが、現在、院内保育所を希望する看護師も数名おり、更に、女性医師も対象にすることにより、子育て中の女性医師が本院での勤務を承諾する可能性も出てきます。看護師・医師対策の有効な手段の1つと考えますので、再開について検討したいと思えます。病児保育についても併せて検討したいと考えます。

# 委員会報告

審議された質疑をピックアップ

## 総務経済 委員会

平成19年度御前崎市一般会計予算の補正(第二号)の内、総務部、事業部の所管に属する事項について

**問** 水産振興費中、海外研修生受入事業委託料について、インドネシア人が2名来るようだが、期間はどうのくらいか

**答** 12月入国予定で1年間の研修を受ける予定です。

**問** 2月定例会の時は新規研修生が無く、新規分はゼロと聞いたが急遽来る事になったので、補正で研修費を計上することになったと思う。このように水産振興費の中で研修費を計上していますが、水産振興について他には何か行うのか

**答** 海外研修生受入事業は、当初予算で第4期生の残り半年分についてお願いしました。予算編成時には、5期生の受入はないという事で計上してなかったが、4月になり諸般の事情で漁協、船主同盟会から研修生受入事業の実施の申し入れがあったので計上しました。インドネシア人の技術習得という国際貢献が主な目的ですが、研修後2年間の実習を行うので漁業振興につながるものと思われま

